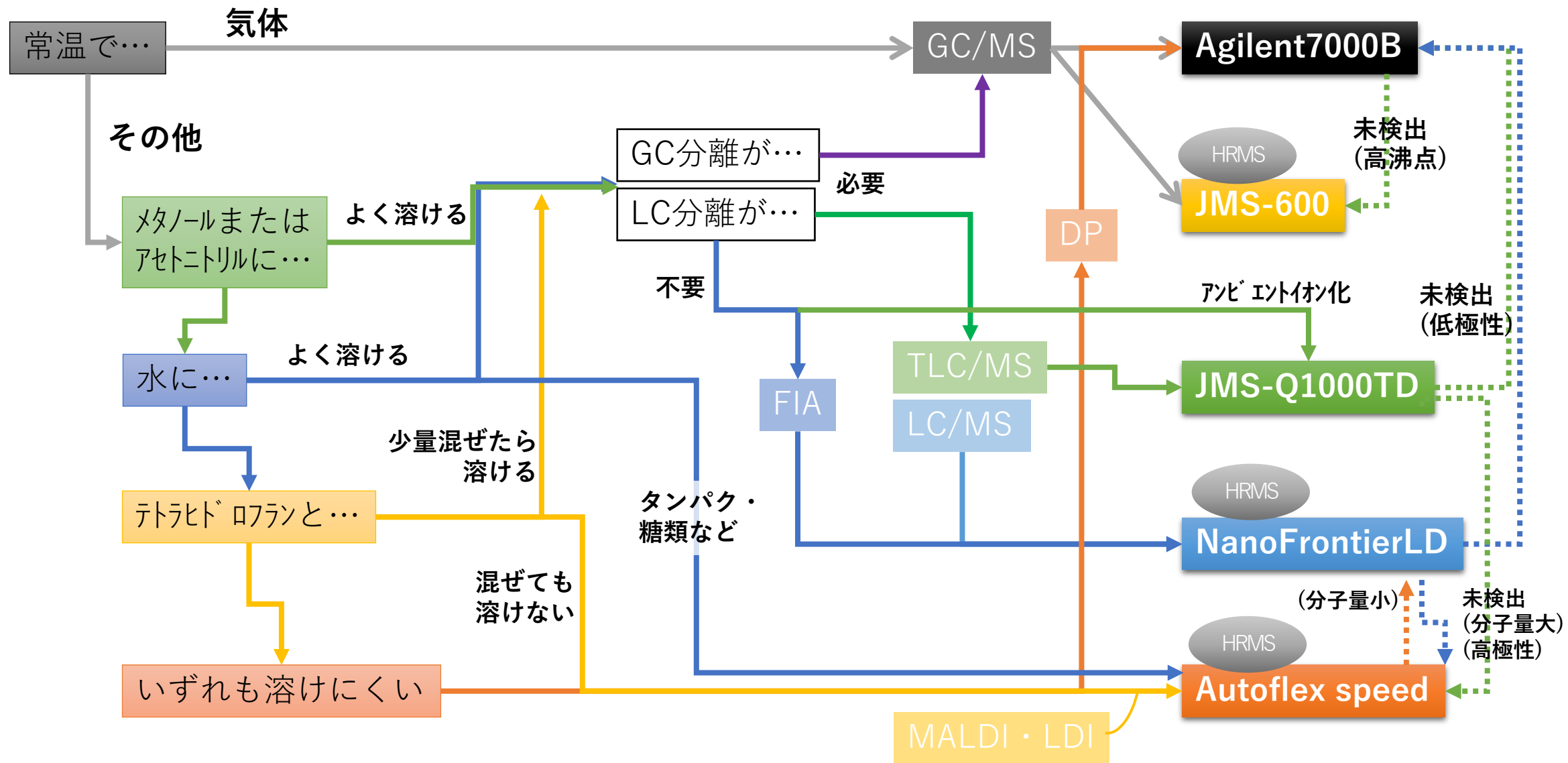


# マススペクトロメーター 簡易選定チャート



# 略語の意味

FIA： フローインジェクション法 HPLC装置からカラムを通さずに測定する方法。  
これ以外に、インフュージョンポンプからの導入も可能であるが、基本的に依頼測定のみ。

DP： ダイレクトプローブ（DP）またはサーマルセパレーションプローブ（TSP）などのプローブから試料を導入する方法。

GC/MS： GC（ガスクロマトグラフィー）を使って、成分分離をさせながら測定する方法。

TLC/MS： TLC（薄層クロマトグラフィー）を使って、成分分離をさせながら測定する方法。

LC/MS： LC（ガスクロマトグラフィー）を使って、成分分離をさせながら測定する方法。

MALDI： マトリックス支援レーザー脱離イオン化の手法で測定する方法。  
マトリックスを使わずに試料自体のレーザー吸収で測定するときはLDIという。

HRMS： 高分解能質量分析（HRMS）が可能な装置。  
小数点以下の測定精密質量を求めることによって、組成式の解析を行うために用いる。

# 機種の簡易紹介

Agilent7000B： GCを標準装備。

溶液注入オートサンプラーと、サーマルセパレーションプローブ（TSP）の二つの注入口を選択可能。  
イオン化法は、EI/MSとCI/MSが使用可能。

JMS-600： GCを接続可能であるが、標準装備ではない。ダイレクトプローブ（DP）が使用可能。

HR-MS（高分解能質量分析）が可能（現在は性能劣化により困難）。

イオン化法は、EI/MSが使用可能（CIとFABは、ガスの調達が必要）

JMS-Q1000TD： TLC/MSによる測定が可能。大気圧下で試料をそのまま測定することもできる。

イオン化法は、DART/MS（アンビエントイオン化）。

NanoFrontierLD： 通常はFIAにより溶液注入。カラム接続によりLC/MSが可能。

イオン化法は、ESI/MSおよびAPCI/MS。

Autoflex speed： MALDI/MS。TLC/MS（TLC-MALDI）の測定も可能。

組織切片などを測定するためのイメージングMSの利用も可能。